

早めに手を打ちたい 冬の結露・凍害対策とは

わくわく通信

発行人

株式会社ホーム&ヒューマン・ナビ

代表取締役 安保隆

太白区山田自由ヶ丘44-6

TEL(022)307-3884

FAX(022)307-3885



リフォームごぼれ話(結露・凍害編)

いよいよ冬がやってきました。私は北の生まれで北海道勤務の経験もあり、当地では寒さはさほど苦になりませんでした。住宅には厳しい季節と言えましょう。

ことがあります。当地は北海道ほど寒くはありませんが、注意するに越した事はありません。

結露対策にはいろいろありますが、水蒸気を発生するものをなるべく置かない、使用しない事と、水蒸気を外部に放出する換気対策が極めて重要です。家の中で水蒸気を発生させる主なものは、浴室の湯気とキッチンでの炊事ですが、換気扇を有効に活用してください。



毎年、この季節には記事にしていますが、冬には結露がつきもので、結露を放置していると住宅寿命が確実に短くなります。以前の北海道では壁の中の結露により多数の新築住宅が数年で腐食してしまい大問題になった



人が換気扇を回し、翌朝まで回しっぱなしにして下さい。換気扇の電気代など家が傷む事に較べれば安いものです。キッチンの換気扇は弱の運転で一日中換気するのが非常に有効です。

また観葉植物や洗濯物の室内干し、石油ファンヒーターも水蒸気の発生源なので、除湿機や浴室乾燥暖房換気扇、そして各部屋の換気扇を有効活用したいものです。

結露について書きましたが、本当に怖いのは壁の中の結露です。11月に施工させていただいた事例なのですが、10年来階段室の内壁がふやけてきたり、階段面に水たまりが発生したりで悩んでおられて外部のリフォームを依頼されました。屋根や外壁には漏水の原因は見当らず、ふやけた内壁を解体したところ、壁内部の結露が原因だとわかりました。通常は軒裏の換気口に抜ける空気の流れがありすが、小屋根により塞がれたことで外部に通気口を設置しま

した。壁内部の結露で気をつけて欲しいのは浴室です。システムバスの場合には心配ありませんが、タイル浴室の場合、タイル面がきれいでも目地などの目に見えない亀裂などから湿った空気が壁に流出し、冬期間の冷たい空気により一瞬にして結露が発生し、下に流れていきます。この結露水が土台や柱を腐食させ、シロアリを発生させる原因になるので(写真1)冬期間に住宅を傷める

もうひとつの原因は凍害です。外壁面に生じた小さな亀裂に水分が浸入し、凍結することで亀裂が大きくなり徐々に崩壊していく現象です。11月に施工させていただいた現場で、凍害によりモルタル外壁面が脱落してしまつた事例がありました。

冬の大感謝祭開催中

お客様の要望により「秋の大感謝祭」を延長しました。

ご好評のTOTOSHIS

テムバス『サザナ』本体

50%引きに加え、今月から

INAXシステムバス

『ラ・バス』を施工開始

しました。本体60%引き

でご奉仕させていただきます。

他にもリンナイガス給

湯器が各種50%引き等た

くさんのお買い得商品

を

取り揃えております(価格はすべて商品価格のみで工事費は別途かかります)

屋根・外壁やその他の

工事も通常価格から5%

引きサービスを行って

います。どうぞご利用

ください。

現場調査・見積無料。

電話(307)3884

編集長の独り言

新型インフルエンザ・ワクチン接種が開始された。8月19日に樹添厚労相により「新型インフル

エンザ（豚フル）の本格的流行がある」と突如発表されて以来、マスコミは恐怖を煽り続けてきた。医療関係者による「感染力は強いが、症状は比較的軽微なまま軽快する」との指摘はあまり取上げられていないようです。

マスコミ報道が過熱した時が要注意であることは過去の経験から学んでいたもので、少し調べてみると奇怪な事実が判明し

会社案内

株式会社ホーム&ヒュー

マン・ナビは住宅・マンションリフォーム専門店です。「お客様からいただいた金額以上の満足感」をモットーに「住宅と住む人への愛」を基本に仕事をさせていただいております。

社長自ら現場調査、工

た。今回の新型インフルエンザ・ワクチンの特許申請が、米バクスター社により、なんと2年以上も前の2007年8月28日に特許登録されていたのです。

何故か、巷で流行する以前に特許が取れるのでしょうか？ちなみに厚労省に認可申請しているノバルティス社も、4月のメキシコ感染死亡のニュースと同時に、自社の最新ワクチンを発表して、1日で株価が急上昇しています。

バクスター社といえども過去にHIVに汚染された血液製剤を日本に売りつけたり、今年の2月には東欧で生きた鳥イン

フルエンザウイルスが混入したインフルエンザワクチンを出荷した事件を起こした会社ですね。

今回の新型（豚フル）ワクチンについては、様々なリスクが指摘されていることはご存知でしょうか。まずは、スクワレン等の免疫増強剤（アシユバント）は不妊の原因になるとの説や、湾岸戦争症候群、腫瘍原性リスクがあるとの指摘もあります。

さらに保存料として使用されているチメロサルは半分が水銀で出来ていますが、含有量は許容値の400倍です。

米国のロバート・ケネディ・ジュニアが先日、補助申請代行いたします）

ガス給湯器・エコキュート・電気温水器設置工事

風呂・キッチン・トイレ等水回りリフォーム工事

塗装工事
屋根・外壁・雨樋工事
内装工事
エクステリア工事

太陽光発電機器設置工事
他修理、小工事等、家のことならなんでもご相談

ください。

米政府と製薬業界のワクチン情報を激しく批判しました。『政府筋の科学者も、超微量であろうと、水銀の体内摂取は重度の小児神経障害を引き起こすという事実を認め

ている。一般に、水銀汚染は発電所や鉱山事業のせいだと喧伝されているが、決してそうではなく、ワクチン接種こそがその原因なのだ。私は多くの

確固とした科学者、医師、精神科医、薬剤師などと共に長年この問題に取り組んでいるが、彼らの冷静で真摯な調査で判明したことは、ワクチン接種

が子供達の健康を破壊し米国史上最も病んだ若い世代を作り出しているという事実だ。私の子供の頃はたった3種だったワクチンが、1999年から22種と大幅に増えており、私の5人の子供達は

その最も病んだ世代なのだ』と述べています。増加する自閉症の要因はワクチンではないだろうか。

元国立保健医療科学院疫学部感染症室長の母里裕子氏はこう指摘されている。『インフルエンザ・ウイルスそのものが、効果のあるワクチンを作れない性質を持っている。インフルエンザ・ウイルスは人に感染しながら、

絶えず形を変えるウイルスである。このようなウイルスに効果のあるワクチンを作ろうとすることが、そもそも非常に無理がある』『前橋市医師会が行った「前橋レポート」（87年）といわれる調査で、インフルエンザ・ワクチンの集団接種をしている地域としていない地域とで、インフルエンザの流行の大きさに差がないことがはっきり証明されている』『これまでの調査で明らかなのは、インフ

ルエンザ脳症はインフルエンザ・ウイルスが原因ではなく、解熱剤やタミフルといった薬剤の関与が疑われているケースが多い』『99年に高齢者の施設でインフルエンザが大流行しているという報道が流れた。当時メーカーは、少子化どころか小学生への集団接種が廃止されてしまい、二つのワクチンメーカーはインフルエンザ・ワクチンから撤退することになった。

苦境のワクチンメーカーを放っておかなかったのが厚生省だった』

『インフルエンザは自然に治る病気で、特効薬はない』これでもワクチン打ちますか？

前回、豚インフルエンザが大流行した1976年、アメリカではウイルス感染による死者が1名だったのに、インフルエンザ・ワクチンの副作用により死亡した方が30名を数えました。今回のワクチン接種では11月27日現在、既に21名の方がお亡くなりになっています。

どうやら豚フルよりワクチンの方が危険らしい。

前回は、インフルエンザが大流行した1976年、アメリカではウイルス感染による死者が1名だったのに、インフルエンザ・ワクチンの副作用により死亡した方が30名を数えました。今回のワクチン接種では11月27日現在、既に21名の方がお亡くなりになっています。どうやら豚フルよりワクチンの方が危険らしい。

ルエンザ脳症はインフルエンザ・ウイルスが原因ではなく、解熱剤やタミフルといった薬剤の関与が疑われているケースが多い』『99年に高齢者の施設でインフルエンザが大流行しているという報道が流れた。当時メーカーは、少子化どころか小学生への集団接種が廃止されてしまい、二つのワクチンメーカーはインフルエンザ・ワクチンから撤退することになった。

苦境のワクチンメーカーを放っておかなかったのが厚生省だった』

『インフルエンザは自然に治る病気で、特効薬はない』これでもワクチン打ちますか？

前回、豚インフルエンザが大流行した1976年、アメリカではウイルス感染による死者が1名だったのに、インフルエンザ・ワクチンの副作用により死亡した方が30名を数えました。今回のワクチン接種では11月27日現在、既に21名の方がお亡くなりになっています。

どうやら豚フルよりワクチンの方が危険らしい。

前回は、インフルエンザが大流行した1976年、アメリカではウイルス感染による死者が1名だったのに、インフルエンザ・ワクチンの副作用により死亡した方が30名を数えました。今回のワクチン接種では11月27日現在、既に21名の方がお亡くなりになっています。どうやら豚フルよりワクチンの方が危険らしい。